

漢字ドリル

漢検 準2級

第37巻

練習＋問題

読み、書き、くり返し。



35字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

腐腕腰膚致舗

練習してから、問題に挑戦

本文 52ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com



じゅん2きゅう 37かん たんい1 れんしゅ
う (1)

なまえ



腕

腕

訓

うで

音

ワン

・片腕 かたうで
・手腕 しゅわん
・腕前 うでまえ

部首

腕

にくづき

12画

腐

腐

訓

くさ

(らす)

音

フ

くさ

(れる)

くさ

(る)

・腐れる くされる
・豆腐 とうふ
・腐る くさる

部首

腐

にく

14画

膚

膚

音

フ

・完膚 かんぷ
・皮膚科 ひふか
・皮膚 ひふ

部首

膚

にくづき

15画

腰

腰

訓

こし

音

ヨウ

・弱腰 よわこし
・腰部 ようぶ
・物腰 ものこし

部首

腰

にくづき

13画





じゅん2きゅう 37かん たんい1 れんしゅ
う (2)

なまえ



舗

舗

音

ホ

・本舗
ほんぽ
・舗装
ほそう
・店舗
てんぽ

部首
舗 した 15画

致

致

訓

いた
(す)

音

チ

・招致
しょうち
・一致
いっち
・致す
いたす

部首
致 いたる 10画

見

見

訓

音

み み み ケン
(せる) (える) (る)

・月見
つきみ
・花見
はなみ
・見学
けんがく

部首
見 みる 7画

亜

亜

音

ア

・亜流
ありゅう
・亜鉛
あえん
・白亜紀
はくあき

部首
亜 に 7画



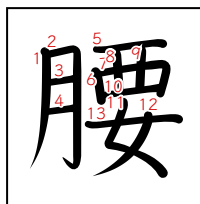


じゅん2きゅう 37かん たんい1 よみのれ
んしゅう2

なまえ



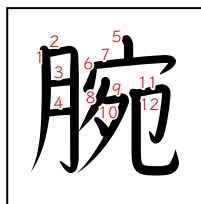
腰



訓	音
こし	ヨウ

・弱腰
よわこし
・腰部
ようぶ
・物腰
ものこし

腕



訓	音
うで	ワン

・片腕
かたうで
・手腕
しゅわん
・腕前
うでまえ

腐



訓	音		
くさ (らす)	くさ (れる)	くさ (る)	フ

・腐敗
ふはい
・豆腐
とうふ
・腐らす
くさらす

部首
腰

にくづき 13画

部首
腕

にくづき 12画

部首
腐

にく 14画



じゅん2きゅう 37かん たんい1 A

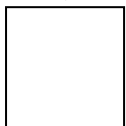
なまえ



/ 16

6

政治の



敗

を正す

5

有名画家の



流

にとどまる作品

4

鉄板の表面に



鉛

をめっきする

3

全員の意見が



一

する

2

店員の

物

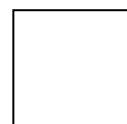


が柔かい

1

みそ汁に

豆



を入れる

12

見学

の日はバスで出かける

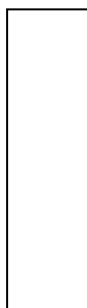


11

駅前に新しい

店舗

を出す

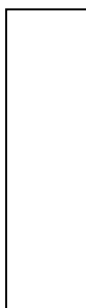


10

強い日差して

皮膚

が赤くなる

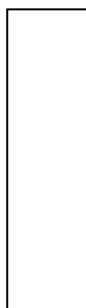


9

料理の

腕前

を上げる



8

国際大会を東京に

招

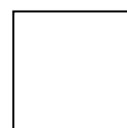


する

7

政府の

弱

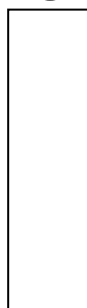


の外交が批判される

16

花見

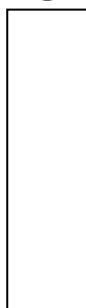
のおべんとうを作る



15

この会社は全国に百の店舗

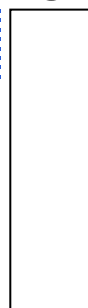
がある



14

皮膚

は体を守る大切な器官だ



13

新社長の

手腕

が問われる





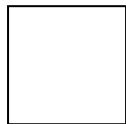
じゅん2きゅう 37かん たんい1 B

なまえ



/ 15

5

皮^ひ科^か

で薬をもらう

4

体育祭で係の

章^{しょう}

を巻く

3

駅前に新しい

店^{てん}

を出す

2

強い日差して

皮^ひ

が赤くなる

1

料理の

前^{まえ}

を上げる

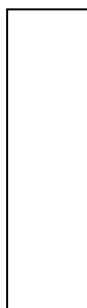
10

恐竜が栄えた
白亜紀

の地層を調べる

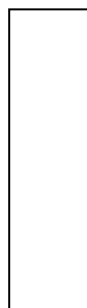
9

遠い故郷に思いを致す



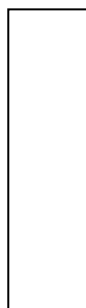
8

店員の物腰が柔かい



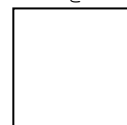
7

冷蔵庫の野菜が腐る



6

傷んだ道路を

装^{そう}

し直す

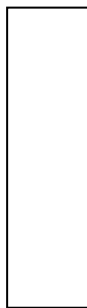
15

ヒット作の亜流が次々に現れる



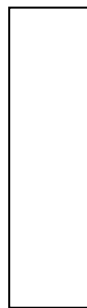
14

全員の意見が一致する



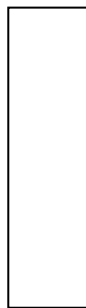
13

転倒して腰部を強く打つ



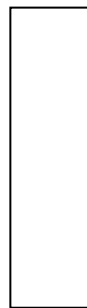
12

腐れる



11

みそ汁に豆腐を入れる





じゅん2きゅう 37かん たんい1 B-2

なまえ



/ 16

6

和菓子の

本^{ほん}

で名物を買う

5

皮^ひ

の色は人によって違う

4

強敵を

完^{かん}

無きまでに破る

3

新社長の

手^{しゅ}

が問われる

2

主将の

片^{かた}

として部を支える

1

テレビ局を

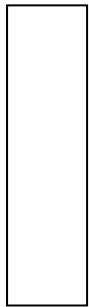
学^{がく}
する

12

毎朝早くから工場で

豆腐

を作る



11

亜麻色

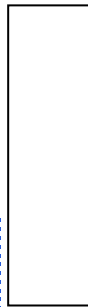
の長い髪が風になびく



10

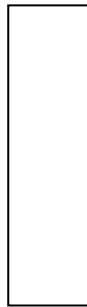
北海道の大部分は亜寒帯

に属する



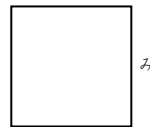
9

腐らす



8

家族で

花^{はな}

に出かける

7

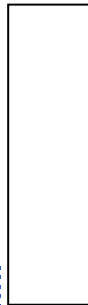
この林道は

未^み装^{そう}
だ

16

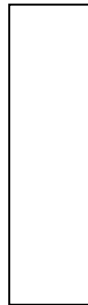
この茶わんは職人技の極致

と言える



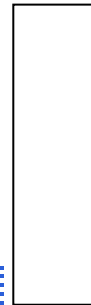
15

応募の条件に合致する



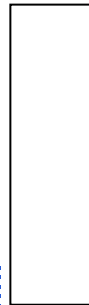
14

若い社員は海外勤務に及び腰だ



13

夏休みから受験勉強に本腰を入れる





じゅん2きゅう 37かん たんい2 れんしゅ
う (1)

なまえ



舟

舟

訓

音

ふな ふね シュウ
ウ

・小 舟
こぶね
・舟 運
しゅうん
・舟
ふね

部首

舟

ふね

6画

舞

舞

訓

音

まい まい プ
う

・見 舞
みまい
・舞 台
ぶたい
・舞 う
まう

部首

舞

まいあし

15画

芋

芋

訓

いも

・芋 掘り
いもほり
・焼 き芋
やきいも
・里 芋
さといも

部首

芋

くさかんむり

6画

般

般

音

ハン

・諸 般
しよはん
・全 般
ぜんはん
・一 般
いっばん

部首

般

ふねへん

10画





じゅん2きゅう 37かん たんい2 れんしゅ
う (2)

なまえ



茂

茂	訓	音
	しげ	モ
	(る)	
	- 茂 しげみ - 繁茂 はんも - 茂る しげる	
部首	くさかんむり	8画

芝

芝	訓
	しば
	- 紙芝居 かみしばい - 芝居 しばい - 芝桜 しばざくら
部首	くさかんむり
芝	6画

定

定	訓	音
	さだ	テイ
	(か)	ジョウ
	- 定員 ていいん - 決定 けつてい - 予定 よてい	
部首	うかんむり	8画

番

番	音
	バン
	- 交番 こうばん - 番号 ばんごう - 一番 いちばん
部首	た
番	12画





じゅん2きゅう 37かん たんい2 A

なまえ



/ 16

6

祖父の

見^み

い

に行く

5

くじの

号^{ごう}

が当たる

4

かけっこで

一^{いち}

になる

3

丘一面が

桜^{ざくら}

でピンクに染まる

2

工場は

一^{いっ}

の人も見学できる

1

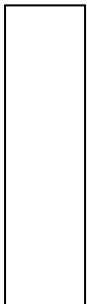
世界の

台^{たい}

で活躍する

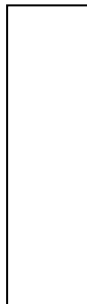
12

遠足は 予定 どおり出発した



11

畑で大根の葉が 茂る



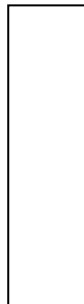
10

秋の 里芋 を煮物にする



9

船頭が 舟 をこいで川を下る



8

劇団の

居^い

を見に行く

7

スポーツ

全^{ぜん}

が得意だ

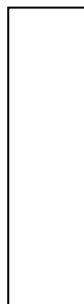
16

冬になると 焼き芋 の車が来る



15

先生に 指定 された場所に集まる



14

池に水草が 繁殖 する



13

江戸の町は川の 舟運 で栄えた





じゅん2きゅう 37かん たんい2 B

なまえ



/ 16

6

古代の

丸^{まる}
木^き
 が出土する

5

話し合いで行き先を

決^{けつ}
 する

4

夏休みの旅行の

予^よ
 を立てる

3

池に水草が

繁^{はん}系^{けい}
 する

2

秋の

里^{さと}
 を煮物にする

1

湖に

小^こ
 を浮かべる

12

クラスで一番足が速い

11

丘一面が芝桜でピンクに染まる

10

工場は一般の人も見学できる

9

冬の空に粉雪が舞う

8

み

 に飛んだボールを探す

7

冬の夜道で

焼^やき
 を買う

16

芝生に寝転んで空を見る

15

先般の大雨で被害が出た

14

道に迷って交番に行く

13

世界の舞台で活躍する





じゅん2きゅう 37かん たんい3 れんしゅ
う (1)

なまえ



菓

1 2 3
4 5 6 7
8 9 10 11

音

カ

・ 菓
かし
・ 菓子
かし
・ 和菓子
わがし
・ 洋菓子
ようがし

部首

菓

くさかんむり

11
画

荒

1 2 3
4 5 6 7
8 9 10 11

訓

音

あ (らす) あ (れる) あら (い) コウ

・ 荒れる
あれる
・ 荒天
こうてん
・ 荒い
あらい

部首

荒

くさかんむり

9
画

薄

1 2 3
4 5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16

訓

音

うす (れる) うす (らぐ) うす (まる) うす (める) うす (い) ハク

・ 薄める
うすめる
・ 薄い
うすい
・ 希薄
きはく

部首

薄

くさかんむり

16
画

蓄

1 2 3
4 5 6 7 8
9 10 11 12 13

訓

音

たくわ (える) チク

・ 蓄積
ちくせき
・ 蓄え
たくわえ
・ 貯蓄
ちよちく

部首

蓄

くさかんむり

13
画





じゅん2きゅう 37かん たんい3 れんしゅ
う (2)

なまえ



被

被

訓

音

こうむ

ヒ

(る)

・被写体 ひしゃたい
・被害 ひがい
・被る こうむる

部首

被

ころもへん

10画

薪

薪

訓

音

たぎぎ

シン

・薪集め たぎあつめ
・薪能 たぎのう
・薪炭 しんたん

部首

薪

くさかんむり

16画

季

季

音

キ

・雨季 うき
・四季 しき
・季節 きせつ

部首

季

こ

8画

羊

羊

訓

音

ひつじ

ヨウ

・羊毛 ようもう
・子羊 こひつじ
・羊 ひつじ

部首

羊

ひつじ

6画



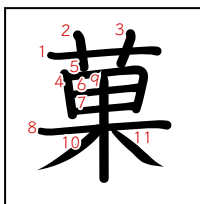


じゅん2きゅう 37かん たんい3 よみのれ
んしゅう2

なまえ



菓

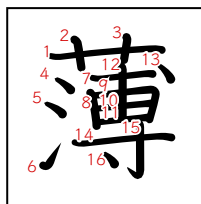


音

カ

- ・ 洋菓子 ようがし
- ・ 和菓子 わがし
- ・ 菓子 かし

薄



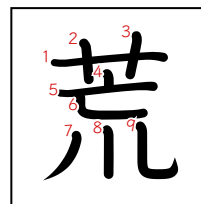
訓

音

- うす (れる)
- うす (らぐ)
- うす (まる)
- うす (める)
- うす (い)

- ・ 薄れる うすれる
- ・ 薄らぐ うすらぐ
- ・ 薄まる うすまる

荒



訓

音

- あ (らす)
- あ (れる)
- あら (い)
- コウ

- ・ 荒波 あらなみ
- ・ 大荒れ おおあれ
- ・ 荒らす あらす

部首 くさかんむり 11画

部首 くさかんむり 16画

部首 くさかんむり 9画





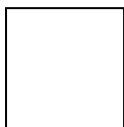
じゅん2きゅう 37かん たんい3 A

なまえ



/ 17

6



あら

療 治

で会社を立て直す

5

毎朝



ひつじ

小 屋

をそうじする

4

春になって

子



ひつじ

が生まれた

3

昔は



しん

炭

が主な燃料だった

2

将来のために

貯



ちく

する

1

会議が

大



あ

れ

になる

12

一番好きな季節は夏だ



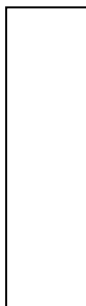
11

円高で輸出企業が損害を被る



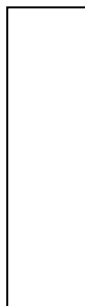
10

高い山の上は空気が希薄だ



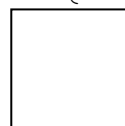
9

来客に菓子を出す



8

寺の境内で



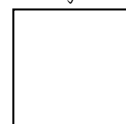
たきぎ

能

を見る

7

部活の練習で疲労が



ちく

積

する

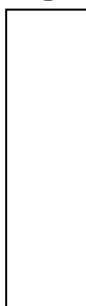
17

お茶と一緒に和菓子を楽しむ



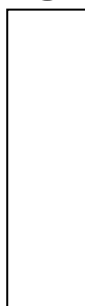
16

東南アジアの雨季は五月ごろに始まる



15

台風で農作物に被害が出る



14

ジュースの原液を水で薄める



13

薄い





じゅん2きゅう 37かん たんい3 A-2

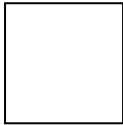
なまえ



/ 16

6

ことわざは短い

含 がん

が深い

5

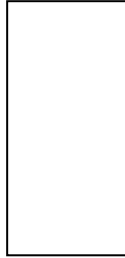
非常用の水を

備 び

する

4

彼は金遣いが



あらい

3

社会の

波 なみ

にもまれる

2

秋の空に

雲 ぐも

がうかぶ

1

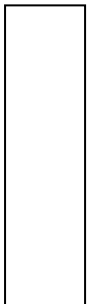
冬は

毛 もう

のセーターを着る

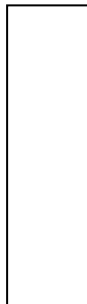
12

山の四季の景色を絵にかく



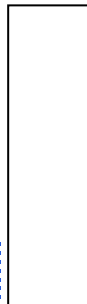
11

今の季節にさく花を調べる



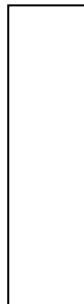
10

年月とともに記憶が薄れる



9

三月に入り寒さが薄らぐ



8

薄まる



7

キャンプで

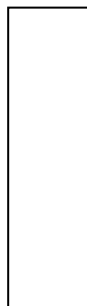
集 あつ

め

をする

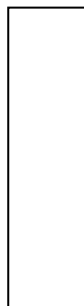
16

猫は人気の被写体だ



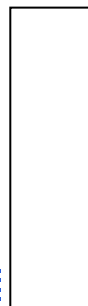
15

地震で被災した鉄道が全線で復旧する



14

旅行のお土産に地元の菓子を買う



13

ケーキなどの洋菓子を作る職人になりたい





じゅん2きゅう 37かん たんい3 B

なまえ



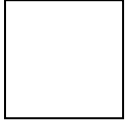
/ 17

6

兄は

製

せい



か

会社で働く

5

俳句に



き

語

ご

を入れて作る

4

一番好きな



き

節

せつ

は夏だ

3

台風で農作物に



ひ

害

がい

が出る

2

高い山の上は空気が

希

き

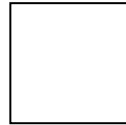


はく

だ

1

来客に



か

子

し

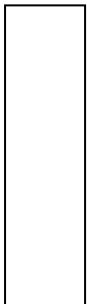
を出す

12

広い草原で

羊

のむれが草を食べている



11

昔は薪炭

が主な燃料だった



10

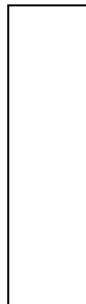
将来のために

貯蓄する



9

彼は金遣いが荒い



8

花を



ひ

写体

しゃ

たい

に写真を撮る

7

人気のゲーム機が

品

しな



うす

になる

17

絵本の中で

子羊

がおかあさんをさがす



16

寺の境内で

薪能

を見る

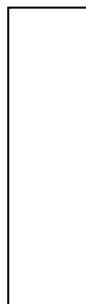


15

両親は

蓄え

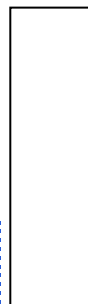
を元手に店を開いた



14

冬は水仕事で手が

荒れる



13

荒天

のため試合が中止になった





じゅん2きゅう 37かん たんい3 B-2

なまえ



/ 16

6

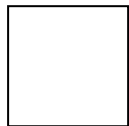
守りが

手^て

な所をねらう

5

冬なのに

着^ぎ

で出かける

4

手作りの

洋^{よう}子^し

を配る

3

京都で

和^わ子^し

をかう

2

南の国は

雨^う

に入った

1

この公園では

四^し

の花がさく

12

荒波

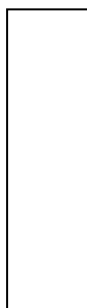
を越えて漁船が港に帰る



11

この農家ではめん羊

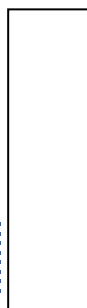
をかって毛をとる



10

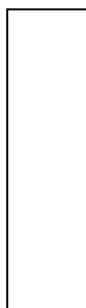
ふれあい動物園で小羊

をだっこした



9

イノシシが畑を荒らす



8

新薬の

験^{けん}者^{しゃ}

を募る

7

裁判で

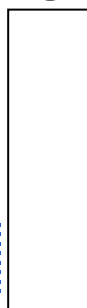
告^{こく}

が無罪を主張する

16

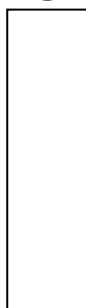
町の燃料店は今も薪炭

を扱う



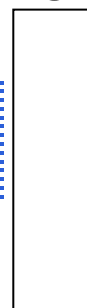
15

薪能はかがり火の中で演じられる



14

古い蓄音機でレコードを聞く



13

家庭用の蓄電池を設置する





じゅん2きゅう 37かん ふりかえり3 A

なまえ



/ 24

8

将来のために

貯



する

7

会議が

大



れ

になる

6

丘一面が



桜

でピンクに染まる

5

工場は

一



の人も見学できる

4

世界の



台

で活躍する

3

全員の意見が

一

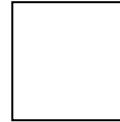


する

2

店員の

物



が柔らかい

1

みそ汁に

豆



を入れる

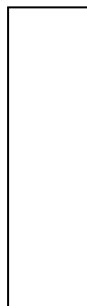
16

船頭が 舟 をこいで川を下る



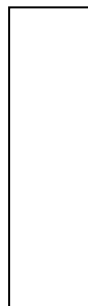
15

駅前に新しい 店舗 を出す



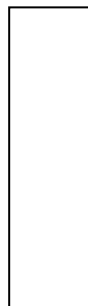
14

強い日差して 皮膚 が赤くなる



13

料理の 腕 前 を上げる



12

沖縄は



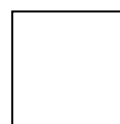
熱帯

の気候だ

11

春になって

子



が生まれた

10

鉄板の表面に



鉛

をめっきする

9

昔は



炭

が主な燃料だった

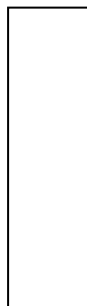
24

一番好きな 季節 は夏だ



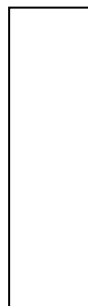
23

遠足は 予定 どおり出発した



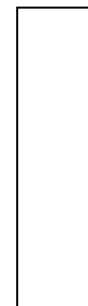
22

見学の日はバスで出かける



21

円高で輸出企業が損害を被る



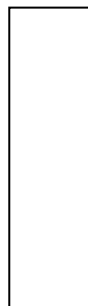
20

高い山の上は空気が希薄だ



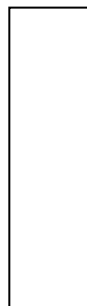
19

来客に 菓子 を出す



18

畑で大根の葉が茂る



17

秋の 里芋 を煮物にする





じゅん2きゅう 37かん ふりかえり3 A-2

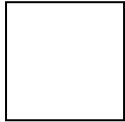
なまえ



/ 24

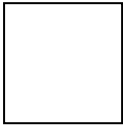
8

海水で鉄の柱が

食
しよく
する

7

政治の

敗
はい
を正す

6

秋の空に

雲
ぐも
がうかぶ

5

冬は

毛
もう
のセーターを着る

4

くじの

号
ごう
が当たる

3

ペンガルトラはトラの

種
しゅ
だ

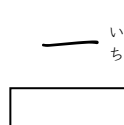
2

有名画家の

流
りゅう
にとどまる作品

1

かけっこで

一
いち
になる

16

山の四季の景色を絵にかく



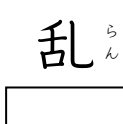
15

今の季節にさく花を調べる



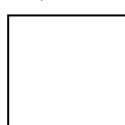
14

夏の夜にホテルが

乱
らん
する

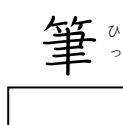
13

祖父の見

見
み
に行く

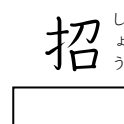
12

画家が力強い

筆
ひつ
で海を描く

11

国際大会を東京に

招
しょう
する

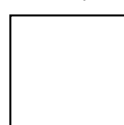
10

毎朝歩いて

足
あし
を鍛える

9

政府の

弱
よわ
の外交が批判される

24

舗装された道を自転車でする



23

この会社は全国に百の店舗がある



22

カエルは皮膚呼吸をしている



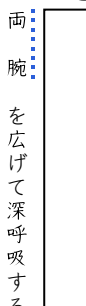
21

皮膚は体を守る大切な器官だ



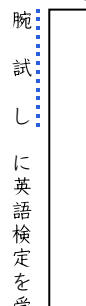
20

両腕を広げて深呼吸する



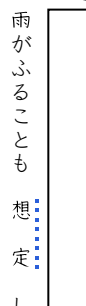
19

腕試しに英語検定を受けてみる



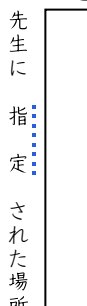
18

雨がふることも想定してかさを持ってきた



17

先生に指定された場所に集まる





じゅん2きゅう 37かん ふりかえり3 B

なまえ



/ 24

8

高い山の上は空気が

希

はく

だ

7

来客に

子

を出す

6

池に水草が

繁

も

する

5

秋の

里

さと

いも

を煮物にする

4

湖に

小

こ

ぶね

を浮かべる

3

駅前に新しい

店

てん

ぼ

を出す

2

強い日差しで

皮

ひ

ふ

が赤くなる

1

料理の

前

まえ

を上げる

16

工場は一般の人も見学できる

15

冬の空に粉雪が舞う

14

遠い故郷に思いを致す

13

店員の物腰が柔らかい

12

冷蔵庫の野菜が腐る

11

一番好きな

き

節

せつ

は夏だ

10

夏休みの旅行の

予

よ

てい

を立てる

9

台風で農作物に

害

ひ

が出る

24

ヒット作の亜流が次々に現れる

23

広い草原で羊のむれが草を食べている

22

クラスで一番足が速い

21

恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる

20

昔は薪炭が主な燃料だった

19

将来のために貯蓄する

18

彼は金遣いが荒い

17

丘一面が芝桜でピンクに染まる





じゅん2きゅう 37かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24



8

皮^ひ科^か

で薬をもらう

7

新社長の

手^{しゅ}

が問われる

6

主将の

片^{かた}

として部を支える

5

このバスの

員^{いん}

は五十人だ

4

話し合いて行き先を

決^{けつ}

する

3

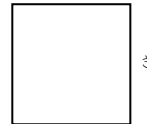
南の国は

雨^う

に入った

2

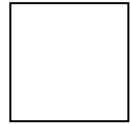
この公園では

四^し

の花がさく

1

テレビ局を

学^{がく}

する

16

ふれあい動物園で小羊をだっこした



15

うさぎ小屋のそうじは今週ばかりが当番だ



14

道に迷って交番に行く



13

亜麻色の長い髪が風になびく



12

北海道の大部分は亜寒帯に属する



11

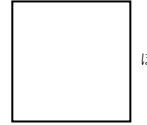
和菓子の

本^{ほん}

で名物を買う

10

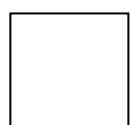
傷んだ道路を

装^{そう}

し直す

9

強敵を

完^{かん}

無きまでに破る

24

コンサートの舞台裏を取材する



23

この茶わんは職人技の極致と言える



22

応募の条件に合致する



21

若い社員は海外勤務に及び腰だ



20

夏休みから受験勉強に本腰を入れる



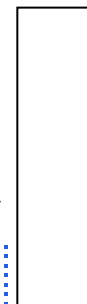
19

森の地面は腐葉土でふかふかだ



18

毎朝早くから工場で豆腐を作る



17

この農家ではめん羊をかって毛をとる





じゅん2きゅう 37かん たんい4 れんしゅ
う (1)

なまえ



触

1 2 11
3 4 9
5 8 10
6 7 12
13

訓

音

さわ ふ シ
(る) (れる) ヨク

・ 触 ふ れ る
・ 接 触 ぜっしよく
・ 触 る さわる

部 首

触

つのへん

13
画

襲

1 11
2 4 10
3 7 12
5 6 8 13 14 15
9 17 18
16 22 21
20

訓

音

おそ シ
(う) ユウ

・ 襲 しょうめい
・ 襲 名 しゅうめい
・ 襲 つか おそう

部 首

襲

ころも

22
画

詰

1 9
2 8
3 10
4 6 12
5 7 11 13

訓

音

つ つ つ キ
(む) (まる) (める) ツ

・ 詰 っ ま る
・ 詰 め る
・ 難 詰 なんきつ

部 首

詰

ごんべん

13
画

訴

1 8
2 9 10
3 6 12
4 7 11
5

訓

音

う ソ
った (える)

・ 提 訴 ていそ
・ 訴 え うったえ
・ 勝 訴 しょうそ

部 首

訴

ごんべん

12
画





じゅん2きゅう 37かん たんい4 れんしゅ
う (2)

なまえ



誇

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

訓

音

ほこ

コ

(る)

・誇大 こだい
・誇張 こちやう
・誇る ほこる

部首

誇

ごんべん

13画

詳

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

訓

音

くわ

シヨウ

(しい)

・不詳 ふしょう
・詳しい くわしい
・詳細 しょうさい

部首

詳

ごんべん

13画

接

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

訓

音

つ

セツ

(ぐ)

・接近 せつきん
・直接 ちよくせつ
・接統 せつどう

部首

接

てへん

11画

覚

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

訓

音

さ

カク

(める)

さ(ます)

おぼ(える)

・味覚 みかく
・自覚 じかく
・感覚 かんかく

部首

覚

みる

12画



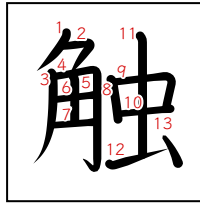


じゅん2きゅう 37かん たんい4 よみのれ
んしゅう2

なまえ



触

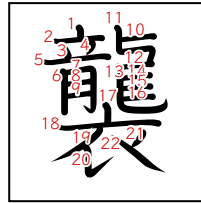


訓	音
---	---

さわ (る)	ふ (れる)	シヨク
-----------	-----------	-----

・触れる	・接触 せつしよく	・触る さわる
------	--------------	------------

襲

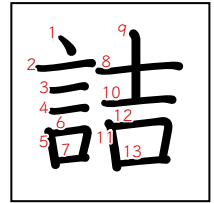


訓	音
---	---

おそ (う)	シュウ
-----------	-----

・空襲 くうしゅう	・襲名 しゅうめい	・襲う おそう
--------------	--------------	------------

詰



訓	音
---	---

つ (む)	つ (まる)	つ (める)	キツ
----------	-----------	-----------	----

・大詰め おおづめ	・難詰 なんきつ	・詰む つむ
--------------	-------------	-----------

部首	つ の へん	13 画
----	--------------	---------

部首	ころも	22 画
----	-----	---------

部首	ごん べん	13 画
----	----------	---------





じゅん2きゅう 37かん たんい4 A

なまえ

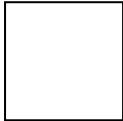


/ 17

6

この顔には

見



え

がある

5

寒波の



来

に備える

4

正座を続けて足の

感



がない

3

旅行の



細

は後日知らせる

2

長い裁判の末に原告が

勝



した

1

歌舞伎役者が父の名を

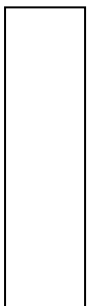


名

する

12

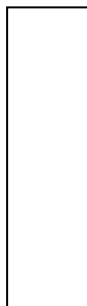
ゲーム機をテレビに接



続する

11

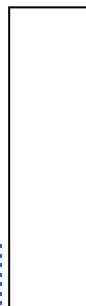
このチームは最多優勝を誇



る

10

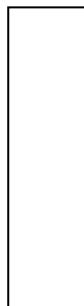
議員が政府の失策を難



話する

9

子犬の背中に触



ると温かい

8

この和歌は作者

不



だ

7

消費者団体が企業を

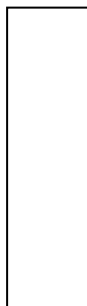


提

する

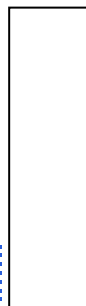
17

話を誇張して伝える



16

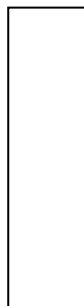
台所の流しにごみが詰



まる

15

旅行かばんに荷物を詰



める

14

博物館で恐竜の化石に触



れる

13

自転車同士が接



触する





じゅん2きゅう 37かん たんい4 A-2

なまえ



/ 16

6

市長が市民の



うった

え

に耳を傾ける

5

農民が将軍に

直

じき



そ

した

4

味

かく



の秋にくりを食べる

3

自分の愚いくせを

自

じ



かく

する

2

前任者の方針を

踏

とう



しゅう

する

1

戦時中に町が

空

くう



しゅう

を受けた

12

友人の努力に

触

発されて勉強を始めた

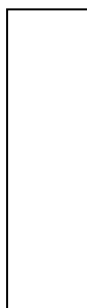


11

手紙ではなく

直

接会って話す

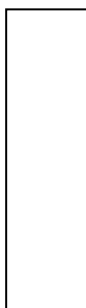


10

テレビにゲーム機を

接

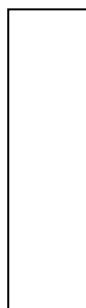
続する



9

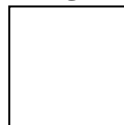
詰

む



8

先生が入試問題を



しょう

解

かい

する

7

火災の



しょう

報

ほう

をタ刊で伝える

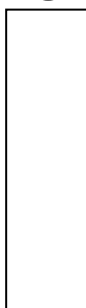
16

庭にバラが

咲

き

誇る



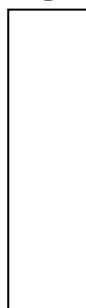
15

友人の受賞が

誇

ら

しい



14

一夜で知識を

詰

め

込

む



13

黒い雲は夕立の

前

触

れ

だ





じゅん2きゅう 37かん たんい4 B

なまえ

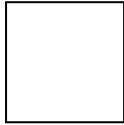


/ 15

5

粘土の

感



を楽しむ

4

ゲーム機をテレビに



続

する

3

話を



張

して伝える

2

議員が政府の失策を

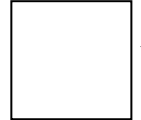
難



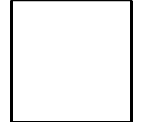
する

1

自転車同士が



せつ



しよく

する

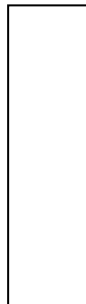
10

旅行の詳細は後日知らせる



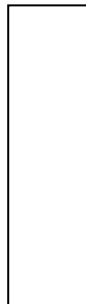
9

長い裁判の末に原告が勝訴した



8

午後の授業中に眠気が襲う



7

商品の効果を



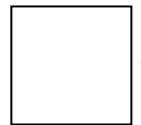
大

に宣伝する

6

交渉は

大



つ

め

に入った

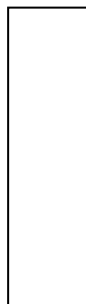
15

音楽の時間に新しい歌を覚える



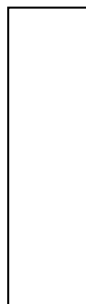
14

この辞書は説明が詳しい



13

市長が市民の訴えに耳を傾ける



12

歌舞伎役者が父の名を襲名する



11

正座を続けて足の感覚がない





じゅん2きゅう 37かん たんい5 れんしゅ
う (1)

なまえ



謡

謡

訓

音

うた
(う)

うた
(い)

ヨウ

・謡
うたい

・民謡
みんよう

・謡う
うたう

部首

謡

言部
ごんべん

16画

誉

誉

訓

音

ほま
(れ)

ヨ

・栄誉
えいよ

・名誉
めいよ

・誉れ
ほまれ

部首

誉

言部
げん

13画

販

販

音

ハン

・通販
つうはん

・市販
しはん

・販売
はんばい

部首

販

貝部
かいへん

11画

豪

豪

音

ゴウ

・豪華
ごうか

・強豪
ごうごう

・豪雨
ごうう

部首

豪

犛部
いのこ

14画





じゅん2きゅう 37かん たんい5 れんしゅ
う (2)

なまえ



贈

贈

訓

音

おく ソウ ゾウ
(る)

・贈 ぞうとう
・寄贈 きぞう
・贈る おくる

部首

贈

かいへん

18
画

賦

賦

音

フ

・割賦 かっぶ
・天賦 てんぶ
・月賦 げっぶ

部首

賦

かいへん

15
画

樹

樹

音

ジュ
ユ

・樹立 じゅりつ
・街路樹 がいろじゅ
・樹木 じゅもく

部首

樹

きへん

16
画

過

過

訓

音

あやま (ち)
あやま (ち)
あやま (ち)
あやま (ち)
あやま (ち)

・通過 つうか
・過去 かと
・過ち あやまち

部首

過

しんによう

12
画





じゅん2きゅう 37かん たんい5 A

なまえ



/ 17

6

将棋界しやうぎかいの強きやうと戦いくさう

5

五輪で金メダルの

栄えいに輝かがやく

4

去こ

のテストを見直す

3

冷蔵庫の

月げつ

の支払いが終わる

2

雨う

で川が増水する

1

武士は家の

名めい

を重んじた

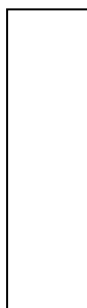
12

理科で公園の樹木を観察する



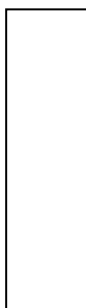
11

合格した友人に祝いの品を贈る



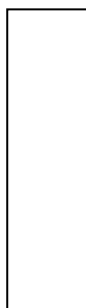
10

駅でお弁当を販売する



9

能楽師が扇を手にとると謡う



8

急行はこの駅を

通つう

する

7

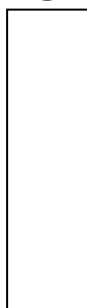
その画家は

天てん

の才に恵まれた

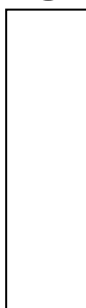
17

海外に販路を広げる



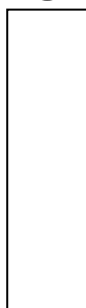
16

森には多くの樹木が育っている



15

作家が母校に蔵書を寄贈する



14

謡い



13

各地に伝わる民謡を歌い継ぐ





じゅん2きゅう 37かん たんい5 B

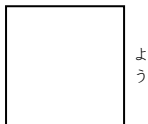
なまえ



/ 16

6

幼い日に聞いた

童^{どう}

を思い出す

5

街路^{がい ろ}

の葉がちる

4

理科で公園の

木^{もく}

を観察する

3

作家が母校に蔵書を

寄^き

する

2

駅でお弁当を

売^{ばい}

する

1

各地に伝わる

民^{みん}

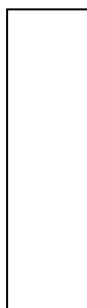
を歌い継ぐ

12

同じ過^ち

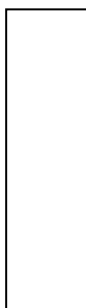
を二度と繰り返さない

11

冷蔵庫の月賦^づ

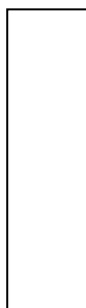
の支払いが終わる

10

豪雨^{ごう}

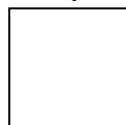
で川が増水する

9

百年続くのれんは店の誉^ほれだ

8

店で

答^{とう}

用に包装してもらう

7

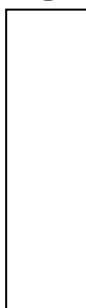
頭が痛くて

市^し

の薬を飲む

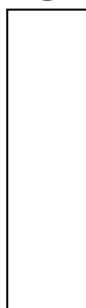
16

古い写真を見て

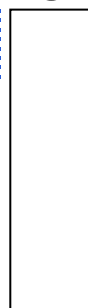
過去^こを思い出す

15

ピアノを

月賦^づで買う

14

豪快^{ごう}

に笑う

13

武士は家の

名^な誉^ほ

を重んじた





じゅん2きゅう 37かん たんい6 れんしゅ
う (1)

なまえ



趣

趣

訓

音

おもむき

シユ

・ 趣向 しゅこう
・ 趣味 しゅみ
・ 趣 おもむき

部首

趣

そうによう

15
画

越

越

訓

音

こ(える)

こ(す)

エツ

・ 越える こえる
・ 越冬 えっとう
・ 越す こす

部首

越

そうによう

12
画

跡

跡

訓

音

あと

セキ

・ 追跡 ついせき
・ 足跡 あしあと
・ 遺跡 いせき

部首

跡

あしへん

13
画

距

距

音

キヨ

・ 車間距離 しやかんきょり
・ 長距離 ちやうきょり
・ 距離 きょり

部首

距

あしへん

12
画





じゅん2きゅう 37かん たんい6 れんしゅ
う (2)

なまえ



援		依		跳	
	音 エン		音 エ イ		訓 と (ぶ)
	・ 声援 せいえん ・ 支援 しえん ・ 応援 おうえん		・ 依頼者 いらいしゃ ・ 依然 いぜん ・ 依頼 いらい		・ 跳ねる はねる ・ 跳躍 ちやうやく ・ 跳ぶ とぶ

部首
援 てへん 12
画

部首
依 にんべん 8
画

部首
跳 あしへん 13
画





じゅん2きゅう 37かん たんい6 A

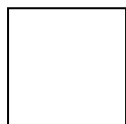
なまえ



/ 14

5

留学生の生活を

支^し

する

4

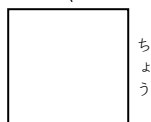
スタンドから

応^{おう}

する

3

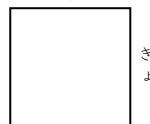
カエルが大きく

躍^{やく}

する

2

駅から学校までの

離^り

を測る

1

虫が落ち葉の下で

冬^{とう}

する

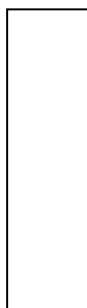
10

古代遺跡を発掘する



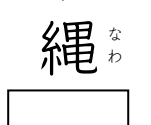
9

古都の町並みに趣を感じる



8

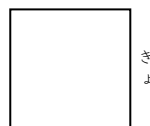
休み時間に

縄^{なわ}

び

をする

7

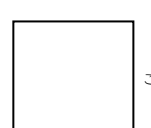
長^{ちよう}離^り

を走るのが得意だ

6

引^ひ

っ

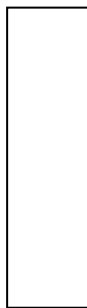


し

を手伝う

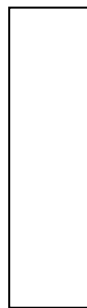
14

地元の新聞社から取材の依頼が来た



13

雪の上に動物の足跡が残る



12

祖父の趣味は盆栽だ



11

講演の依頼を受ける





じゅん2きゅう 37かん たんい6 B

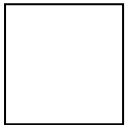
なまえ



/ 16

6

雪の上に動物の

足^{あし}あと
が残る

5

文化祭の出し物に

向^{こう}

を凝らす

4

状況は

然^{ぜん}

として厳しい

3

講演の

頼^{らい}

を受ける

2

古代

遺^い

を発掘する

1

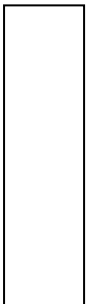
祖父の

味^み

は盆栽だ

12

いくつもの山を越える



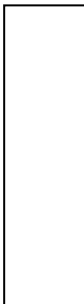
11

虫が落ち葉の下で越冬する



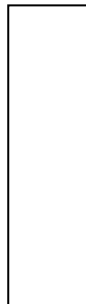
10

スタンドから応援する



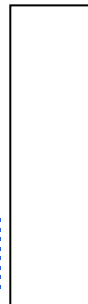
9

助走を付けて道の溝を跳ぶ



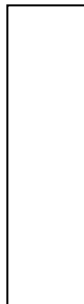
8

駅から学校までの距離を測る



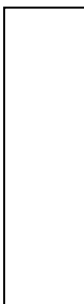
7

大みそかの夜に年を越す



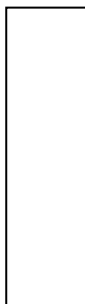
16

友人との距離が縮まった



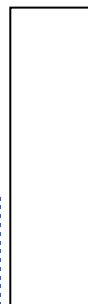
15

全校で野球部の応援に行く



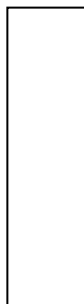
14

池で大きな魚が跳ねる



13

カエルが大きく跳躍する





じゅん2きゅう 37かん ふりかえり6 A

なまえ



/ 24

8

武士は家の

名

よ

を重んじた

7

旅行の

しょう

細

は後日知らせる

6

昔は

しん

炭

が主な燃料だった

5

会議が

大

おお

れ

になる

4

丘一面が

しば

桜

でピンクに染まる

3

世界の

ぶ

台

で活躍する

2

全員の意見が

いっ

ち

する

1

みそ汁に

豆

とう

を入れる

16

豪雨

で川が増水する

15

長い裁判の末に原告が勝訴した

14

将来のために貯蓄する

13

工場は一般の人も見学できる

12

店員の物腰が柔らかい

11

カエルが大きく

ちよう

躍

する

10

虫が落ち葉の下で

えっ

冬

する

9

冷蔵庫の

月

けっ

の支払いが終わる

24

ヒット作の亜流が次々に現れる

23

スタンドから応援する

22

同じ過ちを二度と繰り返さない

21

正座を続けて足の感覚がない

20

広い草原で羊のむれが草を食べている

19

クラスで一番足が速い

18

恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる

17

駅から学校までの距離を測る





じゅん2きゅう 37かん ふりかえり6 A-2

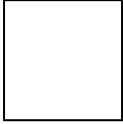
なまえ



/ 24

8

社会の



あら

波

なみ
にもまれる

7

子供たちに

紙



居

い
を読む

6

劇団の



しば

居

い
を見に行く

5

画家が力強い

筆



で海を描く

4

国際大会を東京に

招



する

3

海水で鉄の柱が



食

する

2

政治の



敗

を正す

1

歌舞伎役者が父の名を

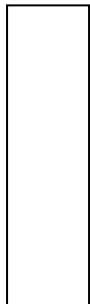


名

する

16

うさぎ小屋のそうじは今週ばかりが当番だ



15

道に迷って交番に行く



14

市の後援で音楽会が開かれる



13

全校で野球部の応援に行く



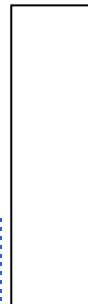
12

亜麻色の長い髪が風になびく



11

北海道の大部分は亜寒帯に属する



10

寺の境内で



能

を見る

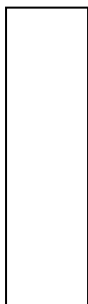
9

療治

で会社を立て直す

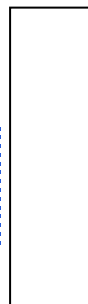
24

古い蓄音機でレコードを聞く



23

家庭用の蓄電池を設置する



22

パソコンが一般の家庭に広まる



21

先般の大雨で被害が出た



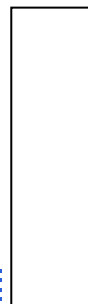
20

若い社員は海外勤務に及び腰だ



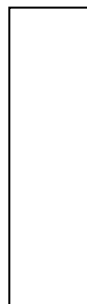
19

夏休みから受験勉強に本腰を入れる



18

この農家ではめん羊をかって毛をとる



17

ふれあい動物園で小羊をだっこした





じゅん2きゅう 37かん ふりかえり6 B

なまえ

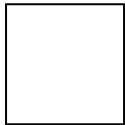


/ 24

8

夏休みの旅行の

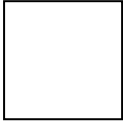
予



を立てる

7

テレビ局を



学

する

6

古代

遺



を発掘する

5

駅でお弁当を



売

する

4

議員が政府の失策を

難



する

3

高い山の上は空気が

希



だ

2

秋の

里



を煮物にする

1

強い日差して

皮



が赤くなる

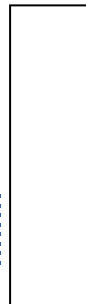
16

来客に菓子を



15

畑で大根の葉が



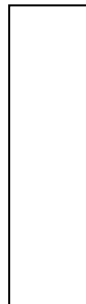
14

船頭が舟をこいで川を下る



13

駅前に新しい店舗を出す



12

料理の腕前を上げる



11

理科で公園の



木

を観察する

10

ゲーム機をテレビに



続

する

9

一番好きな



節

は夏だ

24

地元の新聞社から取材の依頼が来た



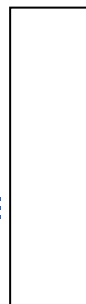
23

講演の依頼を受ける



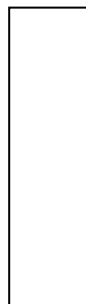
22

古都の町並みに趣を感じる



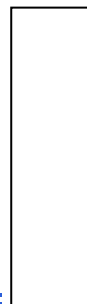
21

合格した友人に祝いの品を贈る



20

能楽師が扇を手にも々と謡う



19

このチームは最多優勝を誇る



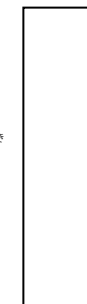
18

子犬の背中に触ると温かい



17

円高で輸出企業が損害を被る





じゅん2きゅう 37かん かん字のしくみ 1

なまえ



/ 18

6

舗

部首



5

致

部首



4

膚

部首



3

腰

部首



2

腕

部首



1

腐

部首



12

茂

部首



11

芝

部首



10

芋

部首



9

般

部首



8

舟

部首



7

舞

部首



18

被

部首



17

薪

部首



16

薄

部首



15

蓄

部首



14

菓

部首



13

荒

部首





じゅん2きゅう 37かん かん字のしくみ 2

なまえ



/ 17

6

誇

部首



5

詳

部首



4

詰

部首



3

訴

部首



2

触

部首



1

襲

部首



12

贈

部首



11

賦

部首



10

販

部首



9

豪

部首



8

謡

部首



7

誉

部首



17

跳

部首



16

跡

部首



15

距

部首



14

趣

部首



13

越

部首





じゅん2きゅう 37かん 一字の音と訓

なまえ



/ 24

○の中の漢字の音読みと訓読みを、語に合うひらがなで記せ。

訓	音	訓	音	訓	音	訓	音
8	舟	7	舟	6	舞	5	舞
舟	運	見	舞	足	腰	腕	手
		い	台	腰	部	前	腕

訓	音	訓	音	訓	音	訓	音
16	詰	15	詰	14	訴	13	訴
詰	難	訴	勝	薪	薪	茂	繁
め	詰	え	訴	能	炭	み	茂

訓	音	訓	音	訓	音	訓	音
24	趣	23	趣	22	越	21	越
趣	味	引	優	贈	贈	誇	誇
深		越	越	り	答	り	張





じゅん2きゅう 37かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24



次の——線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

8	7	6	5	4	3	2	1
世界の舞 ^マ 台 ^{ダイ} で活躍する	人前での振 ^ハ る舞 ^マ い ^イ に気を付ける	面倒な役に逃 ^ニ げ腰 ^ヨ になる	転倒して腰 ^ヨ 部 ^ブ を強く打つ	体育祭で係の腕 ^{ウデ} 章 ^{ショウ} を巻く	腕 ^{ウデ} 組 ^{グミ} みをして考え込む	使わないなら宝の持 ^モ ち腐 ^{クサ} れ ^レ だ	みそ汁 ^{シユ} に豆 ^{マメ} 腐 ^{クサ} を入れる

16	15	14	13	12	11	10	9
両親は蓄 ^{ツク} えを元手に店を開いた	長年の研究の蓄 ^{ツク} 積 ^{セキ} が実を結ぶ	タクシーの運転が荒 ^{アラ} っ ^ッ ぱい	荒 ^{アラ} 天 ^{テン} のため試合が中止になった	茂 ^モ み ^ミ の奥で野鳥が鳴いている	池に水草が繁 ^{ハダカ} 茂 ^モ する	船頭が舟 ^{フネ} をこいで川を下る	江戸の町は川の舟 ^{フネ} 運 ^{ウン} で栄えた

24	23	22	21	20	19	18	17
遅刻の理由を上 ^ウ 司 ^シ に詰 ^ツ 問 ^{モン} される	一夜で知識を詰 ^ツ め込 ^コ む	農民が将軍に直 ^チ 訴 ^ソ した	市長が市民の訴 ^ソ えに耳を傾ける	自転車同士が接 ^{セツ} 触 ^{シュ} する	日本代表に新しい顔 ^{ガン} 触 ^{シュ} れ ^レ が並ぶ	町の燃料店は今も薪 ^シ 炭 ^{タン} を扱う	寺の境内で薪 ^シ 能 ^ネ を見る





じゅん2きゅう 37かん じゅくごのくみた
て

なまえ



/ 20

6

店
舗

5

招
致

4

皮
膚

3

弱
腰

2

手
腕

1

腐
敗

オ 前の字が、 後ろの字の 意味を否定 する	エ 後ろの字が、 前の字の動 作の対象を 示す	ウ 前の字が、 後ろの字の 様子や種類 を示す	イ 反対の意味 や対になる 二字	ア 意味の近い 二字
未定	読書	急行	左右	温暖

二字の意味のつながりを考え、
合う説明の記号を書きましょう。

14

製
菓

13

荒
波

12

繁
茂

11

芝
桜

10

山
芋

9

諸
般

8

小
舟

7

舞
台

20

感
触

19

空
襲

18

被
害

17

薪
能

16

希
薄

15

貯
蓄





じゅん2きゅう 37かん ぶんや れんしゅう

1

なまえ



名	名	細	細	売	売
	訓 音 な ミヨ メイ ウ		訓 音 こま ほ ほ サ (かい) (か) (る) (い)		訓 音 う う バイ (れる) (る)
	・ 名 めいじん ・ 有名 ゆうめい ・ 名前 なまえ		・ 細身 ほそみ ・ 細道 ほそみち ・ 細工 さいく		・ 売買 ばいばい ・ 商売 しょうばい ・ 売店 ばいてん
	部 首 名 くち 6 画		部 首 細 いとへん 11 画		部 首 売 さむらい 7 画

激	激	存	存
	訓 音 はげ ゲキ (しい)		音 ゾン ソン
	・ 急激 きゅうげき ・ 感激 かんげき ・ 激流 げきりゅう		・ 存続 ぞんぞく ・ 存分 ぞんぶん ・ 存在 ぞんざい
	部 首 激 さんずい 16 画		部 首 存 こ 6 画





じゅん2きゅう 37かん ぶんや れんしゅう
2

なまえ



居

居

訓

い
(る)

音

キ
ヨ

・居場所
いばしょ
・住居
じゅうきょ
・居間
いま

部首

居

しかばね

8
画

期

期

音

ゴ キ

・時期
じき
・期間
きかん
・学期
がっき

部首

期

つき

12
画

節

節

訓

ふし セチ セツ

音

・関節
かんせつ
・節分
せつぶん
・季節
きせつ

部首

節

たけかんむり

13
画

抵

抵

音

テイ

・抵触
ていしよく
・大抵
たいてい
・抵抗
ていこう

部首

抵

てへん

8
画





じゅん2きゅう 37かん ぶんや れんしゅう
3

なまえ



前

1 2 3 4 5 6 7 8 9	前
訓	音
まえ	ゼン
・前後 ぜんご	・名前 なまえ
	・午前 ごぜん
部首	りつとう
前	9画

財

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	財
音	
サイ	ザイ
・財政 ざいせい	・文化財 ぶんかざい
	・財産 ざいさん
部首	かいへん
財	10画

物

1 2 3 4 5 6 7 8	物
訓	音
もの	モツ
	ブツ
・荷物 にもつ	・食物 しょくもつ
	・動物 どうぶつ
部首	うしへん
物	8画

肉

1 2 3 4 5 6	肉
音	
ニク	
・筋肉 きんにく	・肉食 にくしょく
	・牛肉 ぎゅうにく
部首	にく
肉	6画





じゅん2きゅう 37かん はんたいとにたい
み

なまえ

/ 13



次の対義語・類義語を後の□の中から選
び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使
うこと。

対
：対義語

類
：類義語

3

対

恥辱

□
□

2

対

簡略

□
□

1

対

購買

□
□

しょうさい・はんぱい・めいよ

8

類

違反

□
□

7

類

演劇

□
□

6

対

臨時

□
□

5

対

穩健

□
□

4

対

自立

□
□

いぞん・かげき・しばい・ていき・ていしょく

13

類

観覧

□
□

12

類

接近

□
□

11

類

手際

□
□

10

類

利殖

□
□

9

類

時候

□
□

うでまえ・きせつ・けんぶつ・ちくざい・にくはく





じゅん2きゅう 37かん よじじゅくご

なまえ

/ 16



読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましよう。

6

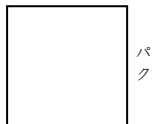
一



シヨク

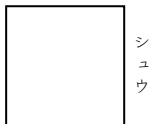
即
発

5

皮
相
浅

バク

4

呉
越
同

シュウ

3

歌



ブ

音
曲

2

一



チ

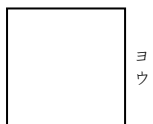
団
結

1

身
体
髪

ブ

12

多
岐
亡

ヨウ

11

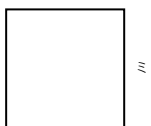
会
者

ジョウ

離

10

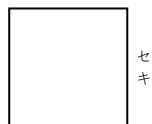
物



モノ

遊
山

9

名
所
旧

セキ

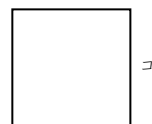
8

英
雄

ゴウ

傑

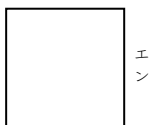
7



コ

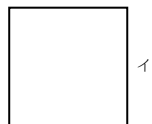
大
妄
想

16

孤
立
無

エン

15

旧
態

イ

然

14

台
風
一

カ

13

前
後
不

カク





じゅん2きゅう 37かん ごじをなおす

なまえ

/ 24



次の文にまちがって使われている同じ読み漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1 みそ汁に豆腐しるを入れる

誤	
正	

2 体育祭で係の済章を巻く

誤	
正	

3 転倒して様部を強く打つ

誤	
正	

4 皮怖科で葉をもらう

誤	
正	

5 全員の意見が一質する

誤	
正	

6 傷んだ道路を捕装し直す

誤	
正	

7 夏の夜にホタルが乱武する

誤	
正	

8 江戸えの町は川の修運で栄えた

誤	
正	

9 諸半の事情により中止する

誤	
正	

10 池に水草が繁模する

誤	
正	

11 来客に火子を出す

誤	
正	

12 ことわざは短いが含築が深い

誤	
正	

13 高い山の上は空気が希伯だ

誤	
正	

14 昔は震炭が主な燃料だった

誤	
正	

15 台風で農作物に被害が出る

誤	
正	

16 前任者の方針を踏集する

誤	
正	

17 自転車同士が接囁する

誤	
正	

18 消費者団体が企業きを提疎する

誤	
正	

19 議員が政府の失策を難喫する

誤	
正	

20 この和歌は作者不商だ

誤	
正	

21 話を顧張して伝える

誤	
正	

22 不名予なうわさが立つ

誤	
正	

23 父は退職後に幼曲を習い始めた

誤	
正	

24 明治の文強の作品を読む

誤	
正	





じゅん2きゅう 37かん ぶんや れんしゅう

1

なまえ



値		幼		浮	
	訓 値 あたい		訓 幼 おさな(い)		訓 浮 う(かべる)
	音 値 ね ち		音 幼 ヨウ		音 浮 フ
	・値 ねだん ・数値 すうち ・価値 かち		・幼少 ようしょう ・幼虫 ようちゅう ・幼児 ようじ		・浮世絵 うきよえ ・浮上 ふじょう ・浮力 ふりょく
	部首 値 にんべん 10画		部首 幼 いとがしら 5画		部首 浮 さんずい 10画

週		武		補	
	音 週 シュウ		音 武 ム ブ		訓 補 おぎな(う)
	音 週 シユウ				音 補 ホ
	・週間 しゅうかん ・来週 らいしゅう ・今週こんしゅう		・武道ぶどう ・武器ぶき ・武士ぶし		・補助ほじょ ・候補こうほ ・補習ほしゅう
	部首 週 しんによう 11画		部首 武 とめる 8画		部首 補 ころもへん 12画





じゅん2きゅう 37かん ぶんや れんしゅう
2

なまえ



稼		模		搬	
	訓 音 かせ カ (く)		音 ボ モ		音 ハン
	・ 出稼 てかせぎ ・ 稼働 かどう ・ 稼業 かぎょう		・ 模様 もよう ・ 規模 きぼ ・ 模型 もけい		・ 搬出 はんしゅつ ・ 搬入 はんにゅう ・ 運搬 うんぱん
	部首 のぎへん 15画 稼		部首 さへん 14画 模		部首 てへん 13画 搬

拍		築	
	音 ヒョウ ハク		訓 音 きず チク (く)
	・ 脈拍 みやくはく ・ 拍車 はくしゃ ・ 拍手 はくしゅ		・ 改築 かいちく ・ 新築 しんちく ・ 建築 けんちく
	部首 てへん 8画 拍		部首 たけかんむり 16画 築





じゅん2きゅう 37かん おなじおんのかん
じ

なまえ



/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

8 テストの 平均 □	7 □ 命的 □	6 新しいスマホを 割 □	5 強敵を 完 □	4 母は □ 少 □	3 転倒して □ 部 □	2 宇宙船の中で物が □ 遊 □	1 政治の □ 敗 □
16 トラックで木材を 運 □	15 それは □ 的 □	14 夏休みまであと一 □ 間 □	13 江戸の町は川の □ 運 □	12 夏の夜にホテルが 乱 □	11 昔の □ 家 □	10 走る前に水分を □ 給 □	9 傷んだ道路を □ 装 □
24 高い山の上は空気が 希 □	23 見事なスピーチに □ 手 □	22 部活の練習で疲労が □ 積 □	21 古い体育館を 改 □	20 新しい工場が □ 働 □	19 来客に □ 子 □	18 ハンカチに花の □ 様 □	17 池に水草が 繁 □

